令和４年６月19日執行　立川市議会議員選挙公報　立川市選挙管理委員会

走ります！ 届けます！ 応えます！

輝く未来めざして～ 大沢純一の約束

防災・環境・交通 安心と快適な街へ!
- ●武蔵砂川駅前に商店を誘致
- ●新清掃工場の排熱を利用した足湯施設の整備
- ●大山小学校の早期改修
- ●交通不便地域の対策
- ●交通弱者への移動支援の新しい仕組みづくり
- ●雨水浸透施設設置補助金の拡充

子どもから高齢者まで 命を守る社会へ!
- ●高校3年生まで医療費無償化
- ●コロナ禍からの経済再生に向けた事業者支援、消費喚起
- ●高齢者にも優しいデジタル化の推進
- ●結婚新生活支援事業の導入
- ●福祉部門(生活保護、児童虐待等)の職員体制の強化
- ●昭和記念公園入園パスポートの市民割引制度の創設

市民の目線で 活力ある街へ!
- ●拡充型放課後子ども教室を早期に全市展開
- ●通学路の安全対策強化
- ●認知症対策の推進
- ●自殺対策、就職氷河期対策、ひきこもり対策の推進
- ●ヤングケアラー支援を推進
- ●障がい者歯科診療環境の整備と口腔衛生事業の拡充

皆様の声を実現しました！ 大沢純一の主な実績

■武蔵砂川駅前ロータリーの早期整備・安全対策と駐輪場の拡充
- ■残堀川にライブカメラを設置
- ■多摩大橋通り（一番町一丁目付近）の右折信号を設置
- ■下砂遊び場（上砂５）と上砂公園（上砂１）に時計を設置
- ■砂川地域の雨水対策の推進
- ■市内街灯のLED化
- ■市営住宅の連帯保証人規則撤廃と居住支援協議会の設立
- ■電子図書館の実現、小中学校の図書標準の達成
- ■小中学校トイレの洋式化
- ■成人歯科検診の対象年齢拡大（40才以上を20才以上に）

私たちも期待します！

- ●立川市長 清水　庄平
- ●立川市歯科医師会 会長 片岡　滋
- ●公明党東京都本部代表 高木　陽介
- ●公明党東京都本部副代表 竹谷　とし子

プロフィール
- ●1971年8月、群馬県桐生市生まれ(50歳)
- ●創価高校、創価大学法学部卒
- ●ホテルなどでの接客業や医療法人での経理業務などを経て、高木陽介衆議院議員の公設秘書を約9年務める
- ●2014年に立川市議会議員に初当選。現在2期目。市議会文教委員長などを歴任
- ●公明党立川総支部青年部長

大沢純一（おおさわじゅんいち）

公明党公認

立川生まれ・立川育ち みんな笑顔になろう！

教育・子育て

★コロナ禍の学校生活の充実を
- ●制限緩和でふれあいの学校生活を
- ●「家庭教育」の大切さを伝える
- ●時間割の中に入った「立川市民科」取り組みを共有し、地域の特性を生かし更にバージョンアップ
- ●教科担任制の早期実現
- ●特別支援教育の推進　個別教育的ニーズにそった発達障害教育の子供たちへの支援の充実

ライフワークとして

★「性と生教育」立川モデルを構築
子供達を取り巻く環境の変化
特にSNS等の過剰な情報もあり正しい知識がないと思われます。
LGBT・望まない妊娠・自己肯定の向上等々　産業医による授業
「立川モデル」を作り身体も心も大切にしていく教育を進めていきます。

まちづくり 夢をのせて
- ●JR立川駅「デッキシティ立川」の実現
- ●立川観光コンベンション協会との連携で観光まちづくりを推進。
- ●子育ては子ども未来センターに！健康会館・ドリーム学園を含む健康複合施設の整備の推進。
- ●サンサンロードを活用したイベントを！
- ●JR立川駅駅周辺容積率の緩和
  - ●南武線高架促進
  - ●西国立駅周辺地域まちづくり推進

地域のこと

★第二小学校建て替え（私の母校）
大規模改修からピカピカの新校舎に！（地域コミュニティールームも設置）地域の皆さんと話し合い子供達にとってより良い校舎を。

★新学校給食共同調理場整備
令和5年に提供開始予定。安全安心な給食を子供達に!

★立川公園陸上競技場改修早期実現！
公認記録が認定される競技場を整備する。

★立川公園野球場にネーミングライツ導入成功！（KOTOBUKIYA球場(仮)）

実現しました
- ●立川第二小学校大規模改修から建て替えに計画変更
- ●JR立川駅デッキよりサンサンロードへのエスカレーター設置
- ●コロナ禍第二小学校卒業記念FLAGを掲示
- ●幼児教育・保育の無償化
- ●コロナ禍における1万円の市民生活支援給付金
- ●コロナ禍における5万円の新生児への特別給付金
- ●自治会連合会加入補助金の増額

中山ひとみプロフィール

昭和32年5月10日　立川生まれ、立川育ち

経歴
- ●立川第二小学校・中学校卒業
- ●東京都立国分寺高校より堀越学園芸能科卒業
- ●一橋スクールオブビジネス修了

職歴
- ●日本航空客室乗務員（スチュワーデス）

現在
- ●2002年6月立川市議会議員初当選
- ●立川市議会第66代副議長
- ●立川市議会文教委員
- ●立川フラハワイアン連盟顧問
- ●曙あずま囃子会長
- ●曙3東神輿会長
- ●立川北口まちづくり協議会(オブザーバー)
- ●立川市防衛協会 会員
- ●自衛隊「かつらぎ会」「隊友会」「家族会」会員

中山ひとみ応援団
- 外務副大臣/衆議院議員　小田原きよし
- 参議院議員/前国土交通大臣政務官　朝日 健太郎
- 自民党東京都参議院選挙区第六支部長　いくいな晃子
- 元東京オリンピック・パラリンピック担当大臣/参議院議員　丸川 珠代
- 参議院議員　武見 敬三
- 自民党立川総支部長 東京都議会議員　清水 孝治

中山ひとみ（なかやまひとみ）

自民党公認

元料理人〝食と平和〟はゆずれない！

小学校給食室を守ろう。

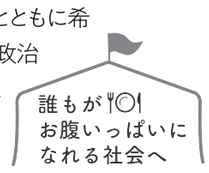
44歳、2児の父
なかまち 聡
1978年生まれ。立川三小、三中、西東京調理専門学校卒/44歳/妻と子2人/立川駅南口商店街での飲食店経営を経て、立川市議2期(総務委員長など歴任)/「たまみら」子ども食堂料理長/文化芸術振興議連/スポーツ振興議連/元立川三小PTA役員/趣味はスケートボード、家庭菜園、食べ歩きなど。

ため込みすぎ 税金103億円は市民に還元せよ

実現へ全力
- ○学校給食費の無償化
- ○国保料年1人1万円値下げ
- ○補聴器の購入費補助
- ○西国立駅に臨時改札口
- ○街分断の28メートル道路廃止

中町さんを応援します
- 高橋 雅哉（立川相互病院長）
- 新堀 統宮子（立川三中 保護者）
- 川合 薫（立川のおいしい給食を実現する会代表）
- 伊藤 慎一（立川市スケートボード推進委員長）
- DJ 宮島（元DJ日本チャンピオン）

前回公約した中学校給食がとうとう実現します。「市民とともに声を上げれば政治は変わる」と実感しています。公園の遊具修繕、ゴミ分別アプリや、コロナで売り上げが減った店舗への市独自の家賃補助も実現しました。
「誰もがお腹いっぱいになれる社会へ」「立川一～八小の給食室は存続を」―今後もみなさんとともに希望ある政治に変えていきます。



憲法9条生かした平和外交を
くらしを壊す大軍拡は STOP

日本共産党

中町さとし（なかまちさとし）

日本共産党

小さな声から未来をつくる

輝く未来めざして～ かどくら正子の約束

防災・環境・交通 安心と快適な街へ!
- ●台風・豪雨等の風水害対策の強化
- ●JR立川駅のホームドア設置促進
- ●危険な空き家対策、空き家等の利活用を推進
- ●交通不便地域の対策
- ●市が設置する屋外トイレの改善
- ●中学校に防災用ヘルメット配布

子どもから高齢者まで 命を守る社会へ!
- ●学童保育所待機児童の解消
- ●通学路の安全対策強化
- ●まるごと(断らない)相談支援事業の実施
- ●がん対策の更なる推進
- ●認知症対策の更なる推進
- ●高校3年生までの医療費無償化

市民の目線で 活力ある街へ!
- ●コロナ禍からの経済再生に向けた事業者支援、消費喚起策の実行
- ●市行政におけるデジタル化の推進
- ●文化芸術支援の充実
- ●公共施設におけるインターネット環境の拡充
- ●昭和記念公園入園パスポートの市民割引制度の創設
- ●福祉部門(生活保護、児童虐待等)の職員体制の強化

皆様の声を実現しました！ かどくら正子の主な実績

■西武立川駅南口に信号機を設置
- ■高齢者安心見守り支援事業の創設
- ■西武立川駅北口に第二有料自転車駐車場を新設
- ■天王橋交差点に右折信号機設置
- ■西砂地域の雨水対策の推進
- ■西砂学習館・一番福祉会館のトイレ洋式化
- ■西砂小学校・松中小学校のトイレ洋式化
- ■西砂小にサマー学童保育所新設
- ■産前・産後ケアの導入と多胎児家庭支援事業の充実
- ■ごみ出し支援サポートシール事業がスタート

私たちも期待します！

- ●公明党代表 山口那津男
- ●衆議院議員 高木　陽介
- ●参議院議員 竹谷とし子
- ●立川市長 清水　庄平
- ●東洋システム株式会社 代表取締役社長 飯田　哲郎
- ●立川市歯科医師会 会長 片岡　滋

プロフィール
- ●昭和36年2月14日 新潟県佐渡市生まれ
- ●昭和54年3月 新潟県立佐渡高等学校卒
- ●昭和56年 白梅学園短期大学卒
- ●昭和56年 国立市立なかよし保育園に就職(13年間勤務)
- ●平成26年　立川市議会初当選から2期を務める
- ●総務委員長、議会運営委員、決算特別委員会副委員長、厚生産業副委員長、議会改革特別委員
- ●家族構成／夫と2男の4人家族
- ●座右の銘／誠心誠意

かどくら正子（まさこ）

公明党公認

命と尊厳はゆずれない 元介護士

交通不便の解消を デマンド交通 くるりんの拡充

2期8年 生活相談2650回

介護士から市議となり、いただいた相談は8年で2650回。国保料は3年、介護保険料は6年連続で値上げをストップするなど、市政を動かすことができました。市民の声を届ける中で、市の各窓口が連携して支援につなぐ体制ができ、複雑な相談に寄りそい、時には訪問で支援する「地域福祉課」も新設されました。

利益優先で競争をあおり、自己責任と負担をおしつける政治から市民を守り、「困ったときに安心して相談できる立川市」に変えます。

前回公約の中学校給食が来年秋からスタート!

ため込みすぎの 税金103億円は市民に還元を

実現します
- ○学校給食費の無償化
- ○国保料年1人1万円値下げ
- ○補聴器の購入費補助
- ○介護・保育・福祉の職員の待遇改善
- ○気候危機打開を立川から
- ○横田基地の被害から住民守る

わかき早苗　1975年 国立市生まれ。都立第五商業高校卒。介護福祉士。家族の介護とともに、障害のある方や高齢者の在宅介護、老人保健施設で働くなど18年間介護に携わる。市議2期。愛犬イブとの時間が至福のとき。上砂町在住。

値上げラッシュから くらし守る HP

若木さなえ（わかきさなえ）

日本共産党

「にぎわいとやすらぎの交流都市立川」を目指して

木原ひろしが取り組む５つの重点施策

① 子ども・学び・文化
- ●保育園・学童保育所の待機児童解消
- ●私立幼稚園における幼児教育発展のための施策
- ●認可保育園の安定的な経営環境の下支え・保育の質の向上
- ●安全安心な中学校給食共同調理場整備
- ●コロナ禍での子供たちのメンタルケア
- ●第５中学校の令和10年度までの建替え
- ●小中学校におけるいじめを絶対に許さない体制の強化
- ●小中学校ICTのさらなる活用や学力の向上
- ●発達支援システムの充実
- ●発達支援教育・教室・学級の推進
- ●教育現場の人的支援や予算の確保・向上
- ●コロナ禍での市民の皆様の文化芸術の発信の場の確保

② 環境・安全
- ●民間活力を活かした空き家対策
- ●地域の見守り・支え合い推進
- ●建物耐震化促進
- ●新清掃工場「立川市クリーンセンター(たちむにぃ)(愛称)」の開設と周辺の公園整備
- ●ごみの減量と資源化
- ●玉川上水の緑の保全・適正管理
- ●雨水対策として空堀川上流雨水幹線整備の工事着手
- ●通学路の安全確保
- ●アライグマ・ハクビシンなど害獣防除事業

③ 都市基盤・産業
- ●武蔵砂川駅周辺のまちづくり
- ●新庁舎周辺のまちづくり
- ●屋外体育施設の国有地を活用した整備
- ●市内スポーツ施設の必要な改修
- ●狭あい道路の整備
- ●福祉的視点を取り入れた交通対策
- ●農地の保全や特定生産緑地の切り替え
- ●農業資材や残渣の廃棄場所や補助
- ●農業補助や事業のわかりやすい表記
- ●植木の地産地消のしくみづくり構築
- ●学校給食での地元野菜の消費向上
- ●立川農業のブランド力強化
- ●ポストコロナを見据え立川観光コンベンション協会と連携して本格的なMICE事業推進
- ●ポストコロナを見据え商店街(会)のイベント実施や街路灯の維持管理
- ●地域商店街(会)活性化
- ●工業者支援の施策の充実

④ 福祉・保健
- ●障害がある人もない人もともに暮らしやすいまちづくり
- ●高齢者が活躍できる場や住み慣れた地域で安心して生活できる環境整備
- ●不妊治療における立川市独自の補助制度創設
- ●子供のインフルエンザ予防接種の助成拡充
- ●介護人材の確保と育成
- ●在宅医療・介護連携・見守り活動の推進
- ●介護者のレスパイトケアの充実
- ●地域包括支援センターの充実を図り、地域包括ケアシステムの総合的な推進
- ●子どもから高齢者までの健康づくりと健康予防

⑤ 行政経営・コミュニティ
- ●「砂川学習館・地域コミュニティ機能複合施設」の整備
- ●健康会館・ドリーム学園・子ども未来センターなどの機能を有する「子育て・健康複合施設」の整備
- ●立川南口に新たに建設する「魅力発信拠点施設コトリンク」の整備
- ●自治会・自治会連合会の支援充実
- ●消防団・市民消火隊の資機材の充実、支援施策の充実
- ●施工能力等審査型総合評価方式の検討
- ●コロナ禍における各種申請手続きの周知徹底

木原ひろし略歴
- ■昭和50年11月2日生まれ
- ■東海大学管生高等学校卒業、明星大学日本文化学部言語文化学科卒業
- ■家族：妻、長男、次男、三男、猫　ただいま子育て奮闘中の5人家族
- ■趣味：釣り全般（主に鮎釣り・渓流・ルアー全般）読書（雑誌、マンガ、小説、活字ならなんでもOK）キャンプ、映画鑑賞、ジョギング、散歩
- ■尊敬する人物：土方歳三
- ■好きな言葉：朝に道を聞かば、夕べに死すとも可なり（論語）〈意味〉朝、人として本当に正しい道を知ることができたならば、たとえ夕方に死んでも悔いはない。真理を求める尊さをいう
- ●平成19年9月 立川市議会議員補欠選挙で当選。
- ●平成22年6月 立川市議会議員選挙において2期目の当選。
- ●平成26年6月 立川市議会議員選挙において3期目の当選。
- ●平成30年6月 立川市議会議員選挙において4期目の当選。文教委員会委員長、予算特別委員会委員長、立川市監査委員、議会運営委員会委員長、東京たま広域資源循環組合議員を歴任
- ●令和4年5月 立川市議会副議長。
- ●その他　立川市野球協会会長、立川市少年野球連盟会長、立川市空手道連盟常任顧問、たちかわ自民党・安進会会長、自由民主党三多摩支部連合会青年部第22代部長、立川市消防団第5分団所属（平成29年度分団長）、元立川双葉幼稚園父母会長

木原ひろし応援団
- 外務副大臣/衆議院議員　小田原きよし
- 参議院議員/前国土交通大臣政務官　朝日 健太郎
- 自民党東京都参議院選挙区第六支部長　いくいな晃子
- 元東京オリンピック・パラリンピック担当大臣/参議院議員　丸川 珠代
- 自民党立川総支部長 東京都議会議員　清水 孝治

木原ひろし（きはらひろし）

自民党公認

（この選挙公報は、立川市選挙公報発行条例4条第1項の規定により、候補者から提出された原稿をそのまま掲載したものです。）